

3級損害保険登録鑑定人

保険・一般常識 試験問題用紙

(2022年1月)

注意事項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った内容を記入・マークすると採点ができませんので、解答した内容はすべて無効（得点なし）となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
5. 解答は、解答用紙の該当する問題の解答欄をぬりつぶしてください。
6. 1つの問題に指定数を超えるマークをつけた場合、その問題は0点となります。
7. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外（万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等）は使用不可です。
8. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
9. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
10. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
11. トイレや急な体調不良等を含め、一旦退席された場合の再入室はできませんので、ご注意ください。
12. 試験時間は正味50分です。
13. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
14. 試験時間中の私語は禁止します。
15. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
16. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
17. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
18. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

マークシート方式による正誤式または選択式の問題です。解答は解答用紙の該当するマークを塗りつぶしてください。

【問題 1】

次の 1～8 の記述は、火災保険の「物件の種類と判定」について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 神社の社務所は、一般物件となる。
2. 共同住宅とは、一つの建物が 1 世帯の生活単位となる戸室を 2 以上有するものをいい、各戸室または建物に付属して各世帯が炊事を行う設備の有無は問わない。
3. 住宅に付属する自家用車専用車庫は、一般物件の扱いとなる。
4. 住宅物件の判定は一つの建物ごとに行うが、単に通路のみに使用される渡廊下で、本屋と共通の屋根を有しないものは、別個の建物として取り扱うことができる。
5. 工場物件（一般建物）の建物の構造級別の判定において、耐火被覆鉄骨造建物は 2 級に該当する。
6. 住宅物件（一般建物）において、耐火建築物の共同住宅はM構造となる。
7. 保険期間のいかんを問わず、工事完成後にM構造、T構造の共同住宅となる建築中の建物は、一般物件を適用しなければならない。
8. 住宅物件と判定された共同住宅における戸室とは、1 世帯の生活単位として仕切られた建物の区分をいい、管理人が居住している戸室は含まれない。

【問題2】

Aさんは、店舗専用建物に保険金額3,900万円の店舗総合保険契約を締結していましたが、この建物から火災が発生し、同建物に3,200万円の損害を被るとともに、この火災の延焼により、隣家3世帯の住宅建物4棟のそれぞれ一部を焼失させてしまいました。

この場合に支払われる次の1～3の保険金について、下の選択肢から最も適切な金額をそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

なお、火災発生時のこの建物の保険価額は5,000万円とします。また、算出した保険金の額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

1. 支払われる損害保険金は、いくらになりますか。
2. 支払われる臨時費用保険金は、いくらになりますか。
3. 支払われる失火見舞費用保険金は、いくらになりますか。

《選択肢》

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| ア. 0円 | イ. 10万円 | ウ. 20万円 | エ. 60万円 |
| オ. 100万円 | カ. 150万円 | キ. 200万円 | ク. 300万円 |
| ケ. 500万円 | コ. 780万円 | サ. 1,000万円 | シ. 3,120万円 |
| ス. 3,200万円 | セ. 3,900万円 | ソ. 4,000万円 | タ. 5,000万円 |

【問題3】

次の1～8の記述は、住宅総合保険について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. この保険では、被保険者の自宅近くの送電線への落雷により保険の対象である電気機器が破損した場合、その波及損害は損害保険金の支払い対象となる。
2. この保険において、建物内外の給排水設備（スプリンクラー設備・装置を含む）自体に生じた損害は保険金支払いの対象となる。
3. この保険において、通貨および預貯金証書（通帳および現金自動支払機用カードを含む）は、いかなる場合も保険の対象には含まれない。
4. この保険では、被保険者が運転する車両が保険の対象である建物に衝突し損害が生じた場合、その損害は保険金支払いの対象とはならない。
5. この保険では、保険の対象である建物から発生した火災、破裂または爆発の事故によって、第三者の所有物に煙損害または臭気付着の損害を与えた場合に生じる見舞金の費用に対して、失火見舞費用保険金が支払われる。
6. この保険では、雪災により保険の対象である建物に損害が生じ、その復旧のために保険契約者または被保険者が支出した必要かつ有益な費用に対して、修理付帯費用保険金が支払われる。
7. この保険において、家財が保険の対象である場合、被保険者と生計を共にする親族の所有する家財で保険証券記載の建物に収容されているものは、特別の約定がない限り、保険証券に明記されなくても自動的に保険の対象に含まれる。
8. この保険において、水災の事故により保険の対象に損害が生じた場合で、損害の発生および拡大の防止のために必要または有益な費用を支出したときは、損害防止費用が支払われる。

【問題4】

火災保険の価額協定保険特約に関する次の記述の正誤の組合せとして、最も適切なものを下の選択肢から1つ選び、その記号を答えてください。

1. この特約は、住宅火災保険契約および住宅総合保険契約に限り、付帯することができる。

2. この特約の保険金額は、保険の対象の評価額に約定付保割合を乗じて算出される。

《選択肢》

- ア. 1および2ともに正しい。
- イ. 1は正しいが、2は誤っている。
- ウ. 1は誤っているが、2は正しい。
- エ. 1および2ともに誤っている。

【問題5】

次の1～4の記述は、「地震保険に関する法律」に基づく地震保険について述べたものです。()内のアとイのうち、最も適切なものをそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

なお、本問においては、契約始期日および地震発生日は2017年1月1日以降であることを前提とします。

1. この保険では、火災保険の契約時に地震保険を付帯しなかった場合、火災保険の契約期間の途中から付帯することが(ア. できる イ. できない)。
2. この保険では、保険契約者または被保険者が保険会社に保険契約に基づく保険金を支払わせることを目的として損害を生じさせ、または生じさせようとした場合、保険会社は保険契約者に対する書面による通知をもって保険契約を(ア. 取消し イ. 解除)することができる。
3. この保険では、貴金属、宝玉、宝石、書画、骨董、彫刻物その他の美術品で、1個または1組の価額が(ア. 20 イ. 30)万円を超えるものは保険の対象に含まれない。
4. この保険では、地震の際の洪水等の水災により建物が床上浸水または地盤面より(ア. 15 イ. 45) cmを超える浸水を被った結果、建物に損害が生じた場合で一部損に至らないときには、その建物を一部損とみなして保険金が支払われる。

【問題6】

Bさんは、自分の住居専用建物と同建物内収容の生活用動産（家財）を保険の対象として、住宅総合保険契約に「地震保険に関する法律」に基づく地震保険契約を付帯して締結していたところ、地震による火災でこの建物および生活用動産（家財）が損害を被りました。保険契約の内容および損害割合は次のとおりです。

この場合に支払われる次の1～3の保険金について、下の選択肢から最も適切な金額をそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、本間においては、契約の始期日および地震発生日は2017年1月1日以降であることを前提とします。また、算出した保険金の額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で教えてください。

〔保険契約の内容〕

| | 住宅総合保険 | | 地震保険 | |
|------|---------|-----------|---------|-----------|
| | 建物 | 生活用動産（家財） | 建物 | 生活用動産（家財） |
| 保険金額 | 3,500万円 | 900万円 | 1,750万円 | 450万円 |

（注）地震発生時のこの建物および生活用動産（家財）の保険価額は、いずれも主契約である住宅総合保険契約の保険金額と同額とします。

〔損害の状況〕

| | 建物 | 生活用動産（家財） |
|------|-----|-----------|
| 損害割合 | 45% | 85% |

（注）建物の焼失床面積は考慮不要とし、建物の損害割合は、地震に起因した火災による地震保険における主要構造部の損害割合とします。

1. 地震保険から建物の損害に対して支払われる保険金は、いくらになりますか。
2. 地震保険から生活用動産（家財）の損害に対して支払われる保険金は、いくらになりますか。
3. 主契約である住宅総合保険から建物および生活用動産（家財）の損害に対して支払われる地震火災費用保険金は、合計でいくらになりますか。

《選択肢》

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| ア. 0万円 | イ. 20万円 | ウ. 45万円 | エ. 50万円 |
| オ. 100万円 | カ. 175万円 | キ. 200万円 | ク. 220万円 |
| ケ. 300万円 | コ. 450万円 | サ. 765万円 | シ. 900万円 |
| ス. 1,050万円 | セ. 1,575万円 | ソ. 1,750万円 | タ. 3,500万円 |

【問題7】

「損害保険の保険金支払に関するガイドライン」に関する次の記述の適切・不適切の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その記号を答えてください。

1. 保険会社は、事故発生時の初期対応として、事故受付時に確認済みの情報に加え、契約者等から事故等に関する追加の情報を確認し、契約者等に対し、支払対象となる可能性のある主たる保険金およびこれに付随する特約・費用保険金の内容を説明する必要があるが、保険金の支払いができない可能性がある場合はその旨を説明する必要はない。
2. 損害調査や事実確認時に取得する個人情報の利用目的は、保険契約の履行（保険金支払の可否、保険金の算定等）のためであり、これらの利用目的を公表している場合でも、保険金請求書等に利用目的を記載することが必要である。

《選択肢》

- ア. 1および2ともに適切である。
- イ. 1は適切だが、2は不適切である。
- ウ. 1は不適切だが、2は適切である。
- エ. 1および2ともに不適切である。

【問題 8】

次の1～6の記述は、新種保険について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 動産総合保険では、保険の対象を積載した輸送用具が所定の期間以上行方不明の場合、推定全損として全損処理をすることができる。
2. 賠償責任保険（普通保険約款）では、風災に起因して被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することにより被った損害は保険金支払いの対象とはならない。
3. 組立保険では、工事現場における現場事務所、宿舎、倉庫、その他の工事用仮設建物およびこれらに収容の什器・備品は保険の対象に含まれない。
4. 機械保険の保険金額は、新調達価額と同額とする。
5. 建設工事保険では、風、雨、雹もしくは砂塵の吹き込みまたはこれらのものの漏入によって保険の対象に損害が生じた場合、その損害は保険金支払いの対象とはならない。
6. 土木工事保険では、保険金が支払われた場合、保険金額からその支払った保険金の額を差し引いた残額がそれ以後の保険期間に対する保険金額となる。

【問題9】

次の1～4の記述は、「自動車保険の対物賠償保険」について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. この保険において、正当な理由の有無に関わらず、被保険者が保険会社の示談交渉等による解決に対する協力を拒んだ場合、保険会社は示談交渉等を行うことができない。
2. この保険において、被保険者が運転を誤り被保険者の兄が所有する自動車に接触し、破損させた場合、その損害は保険金支払いの対象となる。
3. この保険において、被保険自動車を運転中に他人の物を壊したときは、その物の損害だけでなく、壊した結果生じた間接的な損害に対しても保険金が支払われることがある。
4. この保険では、損害防止費用・緊急措置費用・争訟費用に限り、損害の一部とみなして保険金が支払われる。

【問題 10】

次の1～4の記述は、保険価額の評価について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 保険価額の評価にあたり、一部の例外を除いて、再調達価額と時価額が等しくなるのは交換財である「機械・装置」である。
2. 建物の評価にあたり、電気・通信・ガス・給排水・消火・エレベーター等の付帯設備は、基本的に建物を構成する一要素であることから、必ず建物本体と一体で評価しなければならない。
3. 商品の評価の特色として、流通過程の各段階では価格が異なるが、最終的な価格は同じであることから、評価対象が流通過程のどの段階にあるかの確認は不要である。
4. 家財の経年減価額を算出する場合、一般的には、個々の家財の買い替え等を考慮して、保険証券記載の建物に収容されている家財全体の包括的減価率を設定したうえで計算する。

【問題 11】

次の 1～4 の記述は、損害保険契約に関する法律知識について述べたものです。

□ にあてはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ 1 つずつ選び、その記号を答えてください。

1. 保険約款の作成や変更に関しては、□ **1** の認可または □ **1** への届出が義務付けられている。

《選択肢》

ア. 金融庁長官 イ. 財務大臣 ウ. 内閣総理大臣

2. 告知義務違反による損害保険契約の解除権は、保険者が解除の原因を知った時から 1 か月間行使しないとき、または損害保険契約の締結時から □ **2** 年を経過したときは消滅する。

《選択肢》

ア. 3 イ. 5 ウ. 10

3. 保険法では、保険契約者はいつでも損害保険契約を解除することができるが、その解除は □ **3** 効力が生じる。

《選択肢》

ア. 将来に向かってのみ
イ. 契約の締結時に遡って
ウ. 解除した時から 1 か月後より

4. 保険契約の法的性質のうち、□ **4** とは、特別の方式が法定されておらず、当事者の意思表示によってのみ成立する契約である。

《選択肢》

ア. 諾成契約性 イ. 付合契約性 ウ. 不要式契約性

【問題 12】

次の1～8の記述は、損害賠償に関する法律知識について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 一般の不法行為が成立するためには、「加害者に故意または過失があること」、「加害者に責任能力があること」、「他人に損害が発生したこと」、「加害行為と損害との間に因果関係があること」の4つの要件のうち2つ以上の要件が充足されていればよい。
2. 判例では、不法行為によって被害者の生命が侵害された場合、その被害者の祖父母には慰謝料請求権も損害賠償請求権もすべて認められていない。
3. 判例では、公務員が職務上、故意または過失によって違法に他人に損害を与えた場合、当該公務員は被害者に対して民法の不法行為による賠償責任を負わない。
4. 責任無能力者を監督すべき法定の義務者である親権者は、監督上の義務を怠らなかつたこと、またはその義務を怠らなくても損害が生じたことを証明しない限り、責任無能力者が第三者に加えた損害を賠償する責任を負う。
5. 公の営造物の設置または管理に瑕疵があり、他人に損害を与えた場合、その損害の原因についてほかに賠償責任のある者がいたとしても、国または公共団体はその者に対して求償することができない。
6. 債務不履行における損害賠償額の決定にあたっては、不法行為と異なり損益相殺が行われることはない。
7. 判例では、共同不法行為において行為者の一人が被害者に対して債務の全部を弁済した場合、その弁済者は他の共同不法行為者に対し、本来負担すべき責任の割合に応じて求償することができる。
8. 期限の定めのない消費貸借の返還債務では、貸主が借主に対して相当の期間を定めて返還の催告をしない限り履行遅滞にならない。

【問題 13】

個人情報保護法に関する次の1および2の記述の正誤の組合せとして、最も正しいものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その番号を答えてください。

1. 個人情報保護法の対象

ア. 個人情報データベース等を事業の用に供している者は、国の機関、地方公共団体を含めて、個人情報取扱事業者として、個人情報保護法の対象となる。

イ. 個人情報保護法が対象としている個人情報は、生存する個人に関する情報および指紋等の個人識別符号が含まれている死者に関する情報である。

《選択肢》

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 誤っている |
| 3. ア. 誤っている | イ. 正しい |
| 4. ア. 誤っている | イ. 誤っている |

2. 個人情報の取得

ア. 要配慮個人情報は、人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合で、本人の同意を得ることが困難な状況であっても、本人の同意なしに取得することはできない。

イ. 個人情報取扱事業者は、利用目的を変更した場合、変更された利用目的を本人に通知、又は公表しなければならない。ただし、取得の状況から見て、利用目的が明らかであると認められる場合はこの限りではない。

《選択肢》

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 誤っている |
| 3. ア. 誤っている | イ. 正しい |
| 4. ア. 誤っている | イ. 誤っている |

【問題 14】

次の1～8の記述は、リスクマネジメントについて述べたものです。その内容が適切なものには○で、不適切なものには×で、それぞれ答えてください。

1. リスク選好とは、企業がリスクをとって利益を追求することをいう。リスク選好の高い企業は、リスクが大きいが高収益性の高い事業に積極的に進出する。
2. 財務リスクとは、企業の貸借対照表上の「資産の価値」の減少や、「負債の価値」が増加するリスクをいい、信用リスクや流動性リスクが財務リスクに含まれる。
3. リスクの移転は、逃避的なリスクの処理方法であり、事業の目的である利益獲得の機会を逸することになる。
4. リスクの保有形態には、「キャプティブ」「自家保険プール」「保険リスクの証券化」などがある。
5. 近年、集中豪雨により、雨水が下水や排水施設で処理しきれず、道端の排水溝などから溢れる「外水氾濫」による被害が増加傾向にある。
6. 事業者の自動車事故防止を推進するため、労働安全衛生法において、建設業や運送業などの事業者には、常時 30 人以上の労働者を使用する事業場ごとに安全管理者の選任を義務付けている。
7. 製造物責任（PL）とは、製品自体の欠陥により消費者など第三者の身体や財物に与えた損害に対して製品供給者が負う損害賠償責任であるが、その損害が当該製造物についてのみ生じた場合にはその責任を負わない。
8. リスクに関連する用語として、ペリルとは一般に損失を被る可能性を指す用語として使用される。

【問題 15】

次の1～4の取引について、下の勘定科目・金額を用いて仕訳を行い、勘定科目・金額は下の選択肢から最も適切なものをそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、勘定科目・金額の選択肢は、必要に応じて何度使用しても構いません。

1. 郵便局で郵便切手 50 枚@¥80 とはがき 15 枚@¥63 を購入し、代金は現金で支払った。
2. 家賃 1 か月分 ¥64,000 を小切手を振り出して支払った。
3. C 商店から販売目的でテレビ 4 台@¥125,000 を仕入れ、代金は翌月に支払うこととした。
4. D 商店の買掛金 ¥450,000 の支払として、¥250,000 は現金で、残額の ¥200,000 は小切手を振り出して支払った。

《勘定科目 選択肢》

| | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| ア. 資本金 | イ. 受取家賃 | ウ. 当座預金 | エ. 通信費 |
| オ. 買掛金 | カ. 支払利息 | キ. 水道光熱費 | ク. 商品売買益 |
| ケ. 支払家賃 | コ. 商品 | サ. 現金 | シ. 借入金 |
| ス. 備品 | セ. 貸付金 | ソ. 売掛金 | タ. 消耗品費 |

《金額 選択肢》

| | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| a. 750 円 | b. 1,500 円 | c. 4,000 円 | d. 4,500 円 |
| e. 4,750 円 | f. 4,945 円 | g. 64,000 円 | h. 68,000 円 |
| i. 125,000 円 | j. 150,000 円 | k. 200,000 円 | l. 250,000 円 |
| m. 300,000 円 | n. 375,000 円 | o. 450,000 円 | p. 500,000 円 |